

第1回かしまち駅舎ワークショップを開催しました

鹿島駅舎の新たな利活用について、地域の皆さんと一緒に考えるワークショップを実施しています。
幅広い世代からの意見を基に、鹿島駅駅舎利活用施設整備計画を策定します。

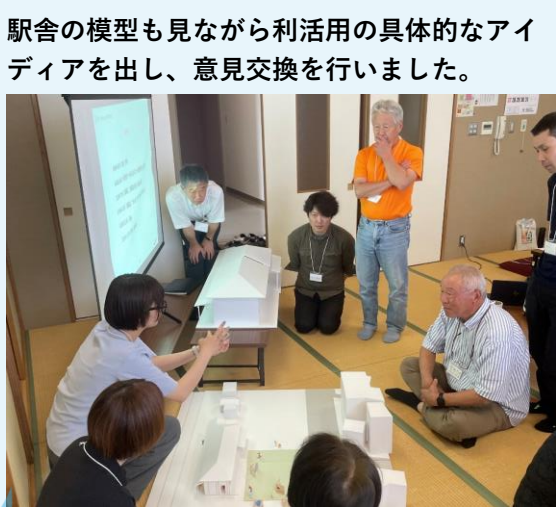
2025年7月19日（土）、鹿島駅舎の利活用に対するアイデアや意見を集めることを目的に、かしまち交流センターで第1回かしまち駅舎ワークショップを開催しました。当日は、幅広い世代の17人の地域の方々にご参加いただき、3つのグループに分かれ「住民が求めているもの」「住民が主体的に関わる方法」などについて、たくさんの具体的なアイデアや意見を出し合いました。

参加者からは「幅広い世代の方の意見を聞くことができて良かった」「自分では思いつかなかったアイデアを聞くことができた」「今後の利活用に可能性を感じた」などの感想をいただきました。

ワークショップは、全3回の実施を予定しており（第2回：8月2日、第3回：8月30日）、今後は、原寸大の模型を使って駅舎の空間イメージを共有しながら意見交換を行い、第1回目に参加者から出されたアイデアや意見の理解を深めるとともに、実現するための具体的な駅舎の使い方の検討を進め、利活用案を取りまとめていきます。



駅舎の図面や写真を見ながら、駅舎の思い出や利活用への想いを共有しました。



駅舎の模型も見ながら利活用の具体的なアイデアを出し、意見交換を行いました。



たくさんのアイデアをふせんに書いて模造紙にはり、まとめていきました。



最後に、グループごとに意見交換の内容を発表し、全体で共有しました。

.....ワークショップで出た主なアイデア・意見.....

- ① 駅舎に集まってもらうためには？
 - 居心地の良い場所 一人でも安心・安全、地域の人と交流、子どもを遊ばせながらお茶、友達と遊ぶ、「いってらっしゃい」「おかえりなさい」、クーリングシェルター、冷暖房、など
 - あったら良い機能 買い物、自習、お茶・カフェ、絵の展示、wifi、図書館、高齢者などのサロン、デイサービス、送迎の待機場所、農産物販売、大型モニター、など
 - イベントの実施 マルシェ、移動販売、キッチンカー、お菓子づくり、ものづくり教室、がにまきの試食会、改修や補修のワークショップ、など
 - 集まりたくなるため 駅前を使いやすく（駐車場など）、空間のデザイン、誰がいるかわかる、住民が主体的に関わる、など
- ② 市街地に活動を広げるには？
 - まちの起点 レンタサイクル、タクシー、観光案内、周辺イベントの起点、など
 - 情報の掲示・発信 観光マップ、YouTubeなどのスタジオ、掲示板（年代別のイベント案内）、歴史を学べる、など
 - 鹿島といえば 鹿島の名物・名産品、お土産、飲食店の案内、お菓子、など
 - 地域外から集める 電車で来てもらう、オタクの聖地に、西のセデッテ・東の鹿島駅舎を結ぶ、など

③ かしまヤグラの作り方・使い方

可動式で仕切り、棚・台、机などになる「かしまヤグラ」を駅舎の中に配置し、時間帯や利用者の使い方にあわせて、空間をアレンジすることを検討しています。

作り方：キャスター、地元の杉・ヒノキの利用、廃材利用、利用で組み立て、ワークショップでつくる、など

使い方：手踊りの練習・ステージ、自習机、アトリエ、販売用の台、イス・机・間仕切り、貸しスペース、利用に合わせて大きさを変えられる、好きなところに置きたい、など

かしまち駅舎ワークショップにおいては、引き続きアイデアや意見出しを行います。
第2回、3回からの参加も大歓迎ですので、気になった方はこちらよりお申込みください！

